

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号 631

事業名	認定農業者連絡協議会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	農業振興費・3目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			南あわじ市補助金等交付規則	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり		
	まちづくりの目標		ふやさんか 食づくりの担い手【農漁業】		
	施策目標		食づくりの源である豊穰の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる		

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市認定農業者連絡協議会(市内の認定農業者)				構成人数(人) 700
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 農業者同士の横の繋がりを密にし、お互いの資質と栽培技術の向上、経営改善を目的とした研修や情報交換を行う。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 事業内容は、各種研修会の開催や、各地区支部における視察研修会、総会、役員会の開催など。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 南あわじ市農業の担い手となる認定農業者で組織する協議会。旧町単位(三原町は旧村単位)で支部があり、その上部組織として市の連絡協議会がある。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ( )	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ( )
					<input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )	
	補助金算出根拠	定額 800千円				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 現行どおり新市へ引き継ぐ					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	800	800	800	500
	認定農業者連絡協議会補助金	800	800	800	500
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	800	800	800	500
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	800	800	800	500
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	1.1	1.1	1.1	0.7
	受益者人数( 700 )一人当り経費(千円)	1.1	1.1	1.1	0.7
経費に関する 補足説明					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) この補助金により、各支部の活動経費・事務費の補助となっている部分が多い。国の農業施策が認定農業者へ集中してきている昨今の状況において、市としても、認定農業者へ対して周知・連絡する機会が徐々に増えてきており、そのような際に、各支部を通じた連絡等をお願いすることで、市としても事務経費を節減できるメリットもある(郵便代80円*700人=56000円/回)。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 対象者からのニーズはかなり大きい、公共性を考えるとかなり低い。	自己評価 (5点評価)
		2
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 認定農業者が増加してきている状況を考慮し、現状維持が適当と考える。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果      必要性</p> </div>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>認定農業者が増加してきている状況を考慮し、現状維持が適切と考える。</p>	<p>同左</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>補助金の用途は、担い手育成総合支援協議会補助金の内容と重複する部分もあり、補助金の削減は、やり方次第では可能と考える。ただし、削減・廃止した場合は受益者からの要望はかなり大きなものになると考えられる上、農業立市としての南あわじ市の姿勢が内外からとわれることは避けられない。</p>	